

第 1 章 評価の概要

1 - 1 評価の目的と対象

1 - 1 - 1 評価の目的

本評価は、日本の対セネガル援助政策および援助実績を総合的にレビューし、今後予定されているセネガル国別援助計画の策定に資する教訓・提言を得ることを目的とする。また、評価結果を広く国民に開示することによって、政府の説明責任を果たすことも目的とする。

1 - 1 - 2 評価の対象

評価の対象は、1995～2004 年度における日本の対セネガル援助政策全般および援助実績である。セネガルについてはまだ国別援助計画が策定されていないため、本評価では、1995 年 3 月の「経済協力総合調査団」による政策協議によって合意された内容を根幹とし、1995 年から 2000 年にかけて毎年発表された「対セネガル国別援助方針」を対セネガル援助政策に準ずるものと見なす。また、同方針が公表されなくなった 2001 年以降については、政策文書ではないものの、対セネガル援助の方向性を窺い知る数少ない公的文書である「ODA 国別データブック」および「JICA 国別事業実施計画」も適宜参照するものとする。

1 - 2 評価方法

本評価ではまず、評価の対象や視点、基準等を明確にした「評価の枠組み」を作成するとともに、評価に必要な情報の種類や収集先、評価スケジュールを定め、それらに従って調査・分析を行なった。

1 - 2 - 1 評価の枠組み

援助政策評価の標準的な枠組みに従って、(1) 目的、(2) プロセス、(3) 結果の 3 つの視点から評価することとした。そして視点ごとに、以下のような評価対象項目を設定した。なお、枠組みの詳細は添付資料を参照されたい。

視点	評価項目
目的	日本の上位政策（旧 ODA 大綱および旧 ODA 中期政策） 日本の対アフリカ支援方針や ODA 戦略における対セネガル援助政策 セネガルの開発ニーズとの整合性 主要ドナーの対セネガル援助戦略との比較
プロセス	援助政策策定過程 援助政策実施過程
結果	有効性 インパクト 自立発展性

1 - 2 - 2 評価の手順

全体の評価調査期間は 2005 年 8 月～2006 年 3 月で、以下の要領で実施された。

- 国内調査 I : 評価の枠組みの作成、資料収集/分析、国内関係機関での聞き取り調査等
- 現地調査 : セネガル政府関係機関、在セネガル日本大使館、JICA セネガル事務所、JICA 中西部アフリカ地域支援事務所、主要ドナー、NGO 等の聞き取り調査、案件実施サイト視察、データ収集等
(2005 年 11 月 1 日～11 月 11 日に実施、現地調査日程は添付資料参照のこと)
- 国内調査 II および整理作業 : 追加情報収集、結果分析、情報整理、報告書作成等

国内、現地での聞き取り調査における訪問・面談先は表 1-1 のとおりである。

表 1 - 1 聞き取り調査訪問・面談先一覧

		部署・担当
国内調査	外務省	経済協力局 国別開発協力第二課 経済協力局 無償資金協力課 経済協力局 技術協力課
	JICA	アフリカ部中西部アフリカチーム 人間開発部第三グループ(保健人材開発促進計画プロジェクト担当) 青年海外協力隊事務局 海外グループアフリカ・中東・欧州チーム
現地調査	セネガル関係機関(調査時点)	経済財務省経済協力局 経済財務省 PRSP モニタリングユニット 環境・自然保護省(森林分野) 海洋経済省 保健・医学予防省 農業・水利省(水利分野) 教育省
	他ドナー機関 (すべて駐セネガル事務所)	フランス / AFD 世界銀行 EC UNDP ドイツ / GTZ・KfW アメリカ / USAID(文書による回答)
	NGO	CONGAD(全国 NGO 協議会) ASBEF(人口・地域保健分野 NGO)(草の根・人間の安全保障無償)
	日本機関	在セネガル日本大使館 JICA セネガル事務所 JICA 中・西部アフリカ地域支援事務所 JICA 現地スタッフ JICA 長期専門家(広域重点・保健、広域・水産) 水分野、農業分野、就学前教育分野コンサルタント
	青年海外協力隊	派遣中協力隊員(農業・農村開発、保健、教育分野)
	視察案件	<技プロ+無償>「安全な水とコミュニティ支援活動計画」実施中 <無償>「小学校建設」終了 <開調>「子どもの生活改善計画」終了 <技プロ+無償>「職業訓練センター拡充計画」終了 <無償>「カヤール水産センター」終了 <開調>「稲作再編計画」実施中(ヒアリングのみ)

1 - 3 評価の実施体制

本評価は、外務省が編成した評価チームによって実施された。評価チームは、評価主任、アドバイザー、および、評価関連補助業務を実施するコンサルタントによって構成される。評価チームの構成員は以下のとおりである。

- 評価主任 : 渡辺 龍也 （特活）国際協力 NGO センター理事
 （ODA 評価有識者会議メンバー）
- アドバイザー : 加茂 省三 名城大学専任講師
- 評価補助業務者 : 駒澤 牧子 (株)アースアンドヒューマンコーポレーション
 金子 眞知 (株)アースアンドヒューマンコーポレーション
 楠田一千代 (株)アースアンドヒューマンコーポレーション